



21世紀のミュージアムを 考える

～名古屋大学の文化財3Dデータ鑑賞アプリ開発秘話～

皆さんは博物館や美術館に行きますか？なんだかお堅いイメージがあって、特別な機会でもないといけないという方も多いと思います。では、どうして博物館・美術館はそのような印象を持たれているのでしょうか？今回の名大カフェでは、博物館・美術館の歴史と、名古屋大学で開発中の文化財3Dデータ鑑賞アプリを題材に、21世紀の開かれたミュージアムを考えていきます。

Culpticon

名古屋大学が開発した、
文化財を3Dで鑑賞できる
ウェブアプリケーションです。



2025.

12.18

19:00-20:00 (ゲストトーク)

20:00-20:15 (Q&A)

参加費
無料



〈ゲスト〉
いのうえ はやた
井上 隼多氏

名古屋大学大学院 人文学研究科
附属人類文化遺産テキスト学研究センター 助教

名古屋大学大学院人文学研究科博士後期課程修了 博士(歴史学)。
2020年度に愛知県陶磁美術館にて学芸員として勤務。2022年度より
名古屋大学大学院人文学研究科の博士候補研究員、その後2023年
度に同研究科の博士研究員を経て、同年度より現職。専門は考古学、
歴史学、博物館学。

〔対 象〕 どなたでも(学生の方も歓迎)

〔セミナー申込〕 Zoomウェビナーにてお申し込み

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_z80pZc8hQBu7ib8mw4sQUg

〔視 聴 方 法〕 Zoomウェビナーにて開催

お申込みされた方にウェビナー視聴URLがメールで届きます。
PC、スマートフォンよりアクセスしてご視聴ください。

〔問 合 せ〕 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya-u.ac.jp



主 催: Common-S.サカイ工大学(運営:松坂屋名古屋店)

協 力: 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
名古屋大学大学院 人文学研究科附属
人類文化遺産テキスト学研究センター



(過去の名大カフェのアーカイブはこちらから)

名大ハカセの
虫めがね

包括連携協定サイト

